

平成 26 年（2014 年）のゲンジボタル観察会について

芦屋川に魚を増やそう会 会長 山田美智子

今年の芦屋川のゲンジボタル観察会は、真剣に、ゲンジボタルがどんなところに何匹いたのかを、調査する会になるようです。

昨年のゲンジボタル観察会は、6月8日（土）でした。1週間前の6月1日に、とてもたくさんので、もしかすると少なくなっているかもしれないと心配しましたが、例年並みに光ってくれて、多くの皆様に喜んでいただきました。

ところが、の卵が孵化して幼虫になって川の中に入り、水中生活を初めてまだまだ小さい頃の8月そして9月に、大雨が降りました。

9月に、市民センター横の大きな2段の堰堤の上段に生えていたツルヨシの大きな塊を押し流すほどの豪雨が数回降りました。

この時に、の幼虫が流されてしまったのではないかと、大変心配しました。

の幼虫は確認できませんでしたが、カワニナはそこそこ確認できていたので、なんとか流されなかったが育っていることを願ってきました。

芦屋川は南向きの河川であることも影響して、阪神間で一番早くが出現します。例年は、5月20日ごろからオスが見え始めます。

しかし、今年もそのあたりから調査をしていますが、5月末になっても、の姿は1匹も見つかっていません。

芦屋川のを復活させる事業にかかわって30年になりますが、このようなことは初めてで、激減を心配しています。

今後、どのような手当てをしていったらいいのか、芦屋市環境課と一緒に考え、実行していきたいと思っています。

皆様も、芦屋川のゲンジボタルを見守ってください。

どうぞよろしく申し上げます。